

ロボット相撲 省燃費競技 ロボコン

ものづくり県大会 石巻工高が3冠

相撲ロボットとエコラン、ロボコンの県大会で優勝を果たした石巻工高自動車部



石巻工高自動車部(部員33人)がものづくりを競う3種類の県大会でそれぞれ優勝を果たした。3大会同時優勝は、同部としては初めての快挙。部員たちは次の東北大会や全国大会に向け、ロボットや車体の最終調整に力を注いでいる。

自動車部33人快挙 上位大会向け「結果出す」

同部は、自作したロボットを戦わせる「相撲ロボット」と、手作りの自動車がガソリン1リットルでどれだけ走行するかを競う「エコラン」、製作したロボットの性能と操作を競う「ロボコン」の3班で活動している。

相撲ロボット班5人(一部他班からの応援)は、8月9日に古川工高で開かれた「県高校ロボット相撲大会」に出場。リーグ戦とトーナメント形式で競い、14校26台の頂点に立った。エコラン班20人は、9日に県運転免許センター(仙台市泉区)で開かれた「第28回手作り自動車省燃費競技大会」高校の部に3台を参加させた。このうちの1台が、7チームによる競技で1リットル32.6・54キロの燃費を記録し優勝した。

同じ日に宮城工高であった「第25回全国高校ロボット競技大会県予選会」にはロボコン班9人が出場。9チームがそれぞれ獲得した得点で争った結果、石巻工高は90点で優勝を手にした。相撲ロボット班は、24日に山形県で開かれる「第29回全日本ロボット相撲東北大会」に進む。班長の2年千田和希さん(16)は「練習に励んできたのでいい成績を残したい」と話した。

エコラン班とロボコン班は全国大会に挑む。それぞれ、10月1日に栃木県で開かれる「本田宗一郎杯Hondaエコマイレッジチャレンジ2017第37回全国大会」、10月22日に秋田県で開催される「第25回全国高校ロボット競技大会」で上位入賞を目指す。エコラン班班長の3年北沢道さん(17)は「県大会よりいい結果を出したい」と話し、ロボコン班班長の3年永吉輝央さん(17)は「初戦突破を目指したい」と意欲を燃やしている。